

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/30～8/3

・7/30(月)

東京五輪の演出トップに野村萬斎氏、迷走する台風 12 号と危険な暑さ、イージスアショアなどについて報じられ、番組のクロージングでは日本銀行について言及された。これら例示したトピックの内、イージスアショアと日本銀行については放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

・7/31(火)

日銀が金融政策を修正、自民党総裁選に向けて、北朝鮮などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。また、自民党総裁選に向けてのトピックについては検証者の所感を記しました。

・8/1(水)

文科省事務次官も飲食接待、皇位継承へ政府が式典事務局を設置などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。また、文科省事務次官も飲食接待のトピックについては検証者の所感を記しました。

・8/2(木)

杉田水脈氏 LGBT 生産性発言問題、東京医大が女子受験生減点、自民党竹下派が分裂危機などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

・8/3(金)

東京医科大学、日朝外相の接触などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。なお、東京医科大学についての報道は検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月30日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：イージスアショア、日本銀行（番組クロージング）		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京五輪、演出トップに野村萬齋氏 ・台風12号が九州で迷走、危険な暑さが再来 ・【追跡】大阪の認定保育園、保育士男によるわいせつ行為の実態 ・ボクシング連盟に告発状 ・日大悪質タックル問題で最終報告 ・イージスアショア ・京都大学がiPS細胞でパーキンソン病治療臨床実験 ・東京目黒区で女性警官が刃物男を取り押さえ ・中国北京郊外でヘリが墜落 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 東京五輪、演出トップに野村萬齋氏 台風12号 国際バレエコンクール、日本人四人が栄冠 来年の年賀はがき、東京五輪マスコットも インド、農業用トラクターの技を競う大会で事故 ・天気予報 ・日本銀行（番組クロージング） 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イージスアショア：結論→特に問題なし <p>2基導入されることが決まっているイージスアショアに搭載するレーダーとしてロッキード・マーティン社製の最新鋭レーダーSSRが選定されたこと、これにより当初1基あたり1000億円を見込んでいた取得経費は1340億円、維持運用費などを含めると2基で4664億円で登り、これには施設の整備費などは含まれず総額はさらに膨らむ見通しであることが報じられた。また、一方で、去年8月北朝鮮が弾道ミサイル発射計画を発表したことを承けて中国・四国地方や北海道の自衛隊駐屯地に配備されていた迎撃ミサイルPAC3の部隊が撤収したこと、米朝首脳会談により緊張状態が緩和したと判断したものであること、ミサイル迎撃に必要な破壊措置命令は継続する方針であることも併せて伝えられた。</p> <p>このトピックについて当てられた時間は103秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。</p> ・クロージング（日本銀行について）：結論→問題なし 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

番組の締めくくりで星キャスターが「明日日銀の政策決定会合っていうのをうけてですね、黒田総裁が記者会見するんですけども、この五年間続いた金融緩和の副作用について言及するかもしれないというのでちょっと注目なんですね。」とコメントしていた。このシーンは13秒ほどであり、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
とくになし

検証者所感
とくになし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月31日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：日銀が金融政策を修正、自民党総裁選に向けて、北朝鮮		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボクシング連盟の不正疑惑 ・日銀が金融政策を修正 ・自民党総裁選に向けて ・関東学生アメフト連盟「十分な改善なされていない」と日大の復帰を認めず ・北朝鮮 ICBM 製造の兆候 ・勝地涼さんと前田敦子さんが結婚を発表 ・【現場から、西日本豪雨災害】夏休みと被災地のこども食堂 ・スポーツ報道 ・23Today <p>ボクシング連盟の不正疑惑 日銀が金融政策を修正 千葉県美浜区で17歳の男子高校生が死亡 成田でヒアリ確認 2014年の消息たったマレーシア機、調査チーム「原因特定できず」 ・天気予報</p>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日銀が金融政策を修正：結論→特に問題なし <p>日本銀行の政策決定会合をおえて黒田総裁が記者会見を行い、国債を買い入れを減らすことを視野に入れ長期金利の上昇を0.2%程度まで容認することを決めたとことを表明したことが報じられた。また、長期金利が住宅ローンの金利水準の基礎となっていることが伝えられながら、住宅業界の声としてパナソニックホームズ東京視野青山営業所の稲垣大志所長の「この直近では駆け込みの早く立てたいなという方が増えるんですけどもそのへんの波が終わったときに非常に業界全体が冷え込んでくるのかな、というのがあるので売り手側としてはいろんな対策をとっていかないといけないところかな。」というコメントが取り上げられていた。</p> <p>また、物価の上昇率が芳しくないことについて、東京神田の居酒屋でビールに焼酎を加え、アルコール度数を5%から7~8%にまでひきあげた「バリキン」と呼ばれるお酒を飲む来店客に代表される節約志向が取り上げられていた。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。</p> <p>雨宮塔子「黒田総裁はこれまでの政策は間違っていなかったと言いますがどんな修正なのでしょう。」</p> <p>星浩「そうですね、これ例えていうならば日本経済を元気にするために、いろんな栄養ドリンクを飲んできたということですね。例えば国債買ったり株を買ったりマイナス金利をやったりですね。ということなんですけどこ</p>		

れ2,3年やって飲んで元気になったらやめようかなと思ったんですけども、全然2%になりませんので、飲み続けている。今回は今3つのドリンクをちょっと減らした、と。まあ出口は探っているんですけどもインパクトはちょっと弱いかなということですね。」

駒田健吾「なぜ、このタイミング、この時期に修正するんですか。」

星浩「そうですね、自民党の幹部にきいてみると、今、地方の銀行がね、ゼロ金利で苦しいんですね。その議論が9月の自民党の総裁選挙でもでてくるものですから、安倍さんのその禁輸緩和どうしてくれるんだ、という不満が出ますよね。それに対して日銀も、いや我々も金融緩和見直しを進めているんですよ、という機先を制しているとそういう面もあるかもしれませんね。」

このトピックについて当てられた時間は324秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。なお、国際や株式の購入というオペレーションを「栄養ドリンクを飲んできた」と例えるのはまだ理解できるが、マイナス金利の導入とはこれまではゼロ金利を金利の下限としていたが今後はゼロ金利を金利の下限とはしないというマーケットのルール変更であることから「栄養ドリンクを飲む」という一過性の措置であるかのように例えるのは不適切ではあるが、「報道は事実をまげないですること」に抵触するとまでは言えないだろう。

・自民党総裁選に向けて：結論→特に問題なし

自民党総裁選に向けて、二階俊博幹事長が二階派の会合で安倍三選支持を表明したこと、竹下亘総務会長が竹下派の会合で「正直、迷っていないと言えば嘘になります、しかし、近々決めなければいけません。」という発言が紹介されつつ、竹下派の参院議員が石破元幹事長を支持する方向で調整に入り、今日、派閥幹部の吉田参院幹事長に対応を一任することを決めたとのことが報じられた。竹下派参院議員の動きの背景にはかつて参院のドンと呼ばれ、今尚参議院竹下派に強い影響力を持つ青木幹雄元自民党参院議員会長の存在があり、かねてから安倍一強は良くないと周辺に漏らしてきた青木氏が参議院竹下派を敢えて石破氏支持に回すことで安倍総理圧勝の流れに一石を投じようとしていること、また元幹事長の石破茂氏が「総裁選挙というものに、挑まなければならない。それが自民党委員として、あるいは政治家としての自分の責務だ。」と改めて総裁選出馬への決意を述べたこと、竹下派の参院議員は21人全員が石破氏支持に回れば石破氏は41人の国会議員の支持を得ることになるということも伝えられると同時に、石破氏が岸田氏や石原氏と会合を開いたことも伝えられ、頼りとする小泉進次郎氏の「まあ、まだ最後の構図はわかりませんから、最後までしっかり考えます。」というコメントが取り上げられていた。

対する安倍総理は今夜、麻生財務大臣と三時間近くに渡り会談を行ったことも伝えられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「劣勢の石破氏を敢えて推すという青木氏の狙いは何でしょう。」

星浩「そうですね、もともと青木さんは消費税を上げるべきだっていう論者なんですね、ですから安倍さん2回延期しましたので、そういった意味では非常に不満を持っているというのが一つと、来年の参議院選挙を睨んでいるんだと思いますね。参議院選挙、自民党がもし苦戦をしたら、その安倍さんに対抗できる総理候補を用意というのを用意しておいたほうがいいんじゃないか、というのが青木さんの作戦でしょう。しかし、まあ、そういう今の総裁選にですね、一石を投じるのが84歳の引退した議員だというのが今の自民党のなんかこう、長

「いものにまかれろっていう雰囲気を感じますよね。」

このトピックに当てられた時間は 248 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。しかし、星キャスターの「今の総裁選にですね、一石を投じるのが 84 歳の引退した議員だというのが今の自民党のなんかこう、長いものにまかれろっていう雰囲気を感じますよね」という発言については現職議員には安倍総裁を支援することが「長いものにまかれろ」という雰囲気があり、これに 84 歳の引退した議員が一石を投げようとしているかのような語り口であるが、今もなお大きな影響力を持つかつての「参院のドン」あるいは「参院竹下派のドン」の一声で総裁選の支持候補を決める参院竹下派の議員の姿勢こそ「長いものにまかれろ」というものではないのだろうか。そのあたりの語り口は放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に抵触するとまでは言えないものの、いささかアンフェアであるように感じられた。

・北朝鮮：結論→特に問題なし

アメリカのワシントン・ポスト紙電子版は 30 日に、情報機関の分析として、北朝鮮が平壤均衡の施設で ICBM 大陸間弾道ミサイルの製造を続けている兆候があると報じたことが伝えられた。また、製造を続けているとみられるミサイルは一発から二発でアメリカ本土が射程に入る火星 15 型が含まれると指摘していて各ミサイル開発継続への疑念が強まりそうであることも併せて伝えられていた。このトピックについて当てられた時間は 29 秒で、放送法第四条の検知からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

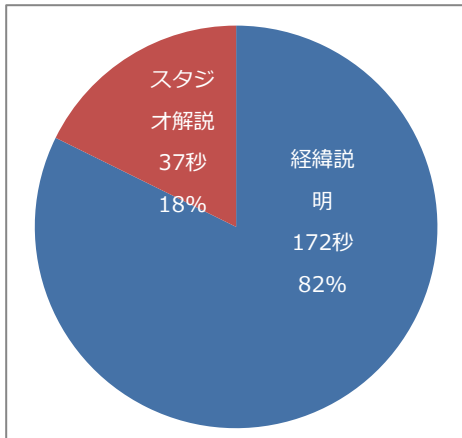
検証者所感

・自民党総裁選に向けて

参院竹下派と青木幹雄といえ、青木幹雄の長男の青木一彦参議院議員は石破茂氏の地盤が含まれる島根・鳥取の合同選挙区選出であることや、次の参議院選挙では島根・鳥取合同選挙区では島根県選出（竹下派）と鳥取県選出（石破派）の現職同士で候補者調整を行う必要があることなどは触れられていなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2018 年 8 月 1 日
出演者： 皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ： 文科省事務次官も飲食接待、皇位継承へ政府が式典事務局を設置		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危険な暑さ再び ・ ボクシング連盟告発事件 ・ 文科省事務次官も飲食接待 ・ 西日本豪雨災害 ・ 奈良市内で商店街を車が暴走 ・ 発車メロディーを限定 ・ 皇位継承へ政府が式典事務局を設置 ・ メキシコで旅客機墜落 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝鮮戦争時の遺骨返還へ ・ 安田純平さんの映像は本人の可能性 ・ 夏のボーナス過去最高額 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文科省事務次官も飲食接待→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 <p>今回は文科省の事務次官が飲食接待を受けていたことが報道された。文科省では幹部が相次いで逮捕・起訴される事態が続いていることが伝えられるとともに、前国際統括官の接待の問題と東京医科大への不正合格の問題の両方に関係している人物として元会社役員の谷口浩司容疑者が挙げられていた。また、事務方トップの事務次官も汚職事件の疑いがあること、戸谷次官も谷口浩司容疑者の設けた飲食接待の場に同席していたことが新たに判明したことが報じられると共に、文科省の体質についてスタジオ解説において指摘がされた。このトピックに当てられた報道時間は 209 秒で、経緯説明とスタジオ解説が主な内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「あの訓示は何だったのかと思いますよね。」

星「そうですね。この戸谷次官も会計課長とか官房長とか要職を務めていますので、利害関係者から接待を受けてはいけないというルールは知っているはずなんですよね。ですけど、私が知る限りこの霞が関でも多くの役所は痛い目に遭って、スキャンダルで、それなりに綱紀粛正を進めているんですね。ですから文科省のこの旧態依然たる対応というのは本当に驚くばかりでして、本当にこれは抜本的な出直しが必要になってきていますね。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかったが、文科省の一連の不祥事の報道が続いており、報道がこうした疑惑をどう伝えていくのかは注視していく問題であると考える。

- ・皇位継承へ政府が式典事務局を設置→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は政府が皇位継承の一連の儀式をとりしきる「皇位継承式典事務局」が発足したことが伝えられた。報道の冒頭では安倍首相のコメントが報じられた。今トピックに当てられた報道時間は 28 秒で、経緯説明が主な内容であった。今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨特になし。

検証者所感

- ・文科省事務次官も飲食接待

文科省での一連の不祥事に関与している元会社役員の谷口浩司容疑者については、インターネット上で「谷口浩司のホームページ（谷口浩司を信じる妻の疑問）」(<http://kojitaniguchi.com/>)によると羽田雄一郎参議院議員の政策顧問として活動していたと主張されている。

このホームページの情報の真偽のほどは定かではないが、こうした情報が出回っているということについて番組では全く触れられておらずその真偽を確かめる素振りすら見せていないことには奇妙さを感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年8月2日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ： 杉田水脈氏 LGBT 生産性発言問題、東京医大が女子受験生減点、自民党竹下派が分裂危機		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ボクシング連盟問題 ・世界各地で猛暑 ・詐欺グループ「受け子」 ・青森女子中学生自殺の最終報告書で「いじめ」認定 ・西日本豪雨災害 ・杉田水脈氏 LGBT 生産性発言問題 ・東京医大が女子受験生減点 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 自民党竹下派が分裂危機 9歳長男虐待死 青森ねぶた祭開幕 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉田水脈氏 LGBT 生産性発言問題→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 性的少数者である LGBT の人々に対し生産性がないなどと月刊誌に寄稿した自民党の杉田水脈衆議院議員が「真摯に受け止め今後研鑽に努めたい。」などとコメントを出したものの寄稿の内容の撤回や謝罪についてはなかったことについての報道。また安倍総理の発言も紹介され「人権が尊重され多様性が尊重される社会を作っていく。目指していくことは当然のことであろうと思います。」と述べていた。この問題についてコメンテーターの星浩氏は「自民党幹部に聞いてみたらこの問題で党本部にね抗議電話が殺到しているらしいんですね。それも自分自民党支持なんだけどころこういう発言は許せないという電話が多いというんですね。まの杉田議員も谷川議員もね、その国会議員なんですから発言するからには、まず事実関係をきちんと調べるということ、それから反論批判があった場合にはそれに対して真摯に答えていくという説明していくってこと必要なんですけど、どうもこの二人ともですね、その二つにもかけている点がありますので、さらにその後もきちんとした説明していませんからね。この批判はまだまだ広がるような気配ですね。」とコメントしていた。なおこのトピックスは122秒報じられ特に問題点は見られなかった。 ・東京医大が女子受験生減点→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 文部科学省の局長の息子を不正に合格させたとして前理事長が起訴された東京医大が、今度は女子の合格者が 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

増えないよう一律に限定する点数調整を行っていたことが分かったことについての報道。報道時間は 28 秒で放送法第四条の見地からは問題は見当たらなかった。

・自民党竹下派が分裂危機→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

来月の自民党総裁選への対応に揺れる自民党竹下派が所属する衆議院議員への意見聴取を行ったことについての報道。竹下派の参議院議員は石破氏を支持する方向で調整を進めているものの、衆議院側は安倍総理を支持する議員が多いことから派閥内で分裂の危機に直面していると伝えられた。このトピックスは 23 秒報じられ特に問題点は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月3日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：東京医科大学、日朝外相の接触		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ボクシング連盟山根会長の疑惑に直撃 ・東京医科大学 ・【セカイは今】中国の地方で棺桶強制回収 ・シンガポールで日朝外相が一年ぶりに接触 ・長崎県で1歳女児が車内で熱中症で死亡 ・大阪府の保育園職員男性を女児二人に触った罪で起訴 ・栃木小1女児殺害高裁判決 ・スポーツ報道 ・23Today 山根会長インタビュー 愛媛県、仏像破壊でナイジェリア国籍の男を逮捕 北海道でヒグマの目撃数急増 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京医科大学：結論→特に問題はないが改善の余地あり <p>東京医科大学が入学試験において女子学生の得点を一律減点していたことについて、東京医科大学前で抗議のデモが行われたこと、東京医科大学の関係者の「医者の世界は男性中心の社会だ。女性が増えることに危機感を持っている。」というコメントや、東京医科大学の元幹部の「どこの医大でもやっている、不正という認識はなかった。」や「一人前の医師になるのは30前くらい、女性医師はそのタイミングで結婚や妊娠で休んでしまう。女性は外科医にならないし僻地医療に行きたがらないという問題もある。結果的に国民が困ることになる。」というコメントが取り上げられたほか、予備校で医学科を目指す受験生や予備校経営者からの驚きや怒りのコメントが取り上げられた。また、女性医師の働き方として東京医科歯科大学では女性医師へのサポートが充実しているということも取り上げられていた。また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>皆川玲奈「デモの参加者の怒りは最もだと思いますよね、でも今この時代にこういう事が行われているということについては、驚きましたし呆れますよね。」</p> <p>星浩「そうですね、今回その女性を減点するのはまあもともと問題なんですけど、それを公にもしないですと続けてきたというのは相当悪質ですよ。」</p> <p>雨宮塔子「VTRにもありましたよけれども、私もですが婦人科系など女性のお医者さんに見ていただきたいとい</p>		

う方も多いと思うんですね、男女の比率は本当に近づいてほしいですね。」

星浩「東京医大のほうは女性をね、離職するからだ、今回の問題について説明しているらしいんですけども、それは考えてみると本末転倒ですよ。離職しなくて済むような環境づくりっていうのを作るのが一番大事なことですし、それがうまく行けば男性のお医者さんも働きやすい環境になる、っていうわけですからそちらの方向を目指すっていうのが筋だと思うんですね。だからこれは東京医大に限らず日本の他の企業だとか教育現場でもありそうな話ですのでこの問題どうも広がりを見せていく感じですよ。」

このトピックに当てられた時間は 532 秒で、放送法第四条に照らして問題は特に見られなかった。

しかし、今回の東京医大のコメントからは「女性医師の離職率」の他に女性の診療科への選好、僻地医療の問題が挙げられていたが、それらについては触れられていなかった。また、そもそもの問題として「国民が困ることになる」との名分で診療科や僻地医療の問題を東京医科大が挙げていたが、そのようなことを大学側が気にするというのも奇妙な話であり、なぜそれを東京医科大が気にするのか、ということについても掘り下げてほしい。

そういった点では放送法第四条一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」についてはさらなる改善の余地があるといえる。

- ・日朝外相の接触：結論→特に問題なし

シンガポールで居合わせた日朝の外相同士の接触があったことが報じられると共に、河野外相の「北朝鮮のリー・ヨンホ外務大臣とはガラディナーの前後にお目にかかって話をしました。こちら側の考え方、基本的な立場を申し上げ、それについて様々なやり取りを致しました。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り上げられた。

雨宮塔子「日朝外相の接触が一年ぶりにありましたが、これは日朝首脳会談につながるのでしょうかね。」

星浩「ええ、とね。実はそういう踏み込んだ話がなかなかできにくい情勢になっているんですね、理由は2つありましてね、一つは北は今、北朝鮮は今アメリカとの非核化をめぐる話し合いがいま最優先ですのでね、日本との関係改善はちょっと後回しということですね。で一方日本の方もどちらかと言えば圧力一辺倒でやってきたものですから北朝鮮とのパイプがないんですね、ですから詰めた話をしようにも準備ができないという状況ですので当面、日本としては米朝の話し合いの出方を見守るしかないという状況ですね。」

このトピックに当てられた時間は 151 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・日本医科大学

東京医科大学の元幹部の「一人前の医師になるのは 30 前くらい、女性医師はそのタイミングで結婚や妊娠で休んでしまう。女性は外科医にならないし僻地医療に行きたがらないという問題もある。結果的に国民が困ることになる。」というコメントには大学運営をしながら、「結果的に国民が困る」などということを考える余裕が

NEWS23 週刊報告 詳細版

あるのかと、驚きを感じた。そもそも診療科による医師の偏在や僻地医療従事者の不足というのは医療業界としての課題ではあるだろうが、それは東京医科大学一校で解決できる課題ではなく、医学部の新設が難しい以上は、本来は医学部を持つ大学が協議したり、医学部の定員を扱う厚生労働省や文部科学省が考えたりするべきものであろう。

今回の東京医科大学の問題への怒りはもっともであるが、こうした問題はそれこそ東京医科大学から文科省や厚労省に対する「忖度」があったのではないだろうか、とも思えてしまう。